

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告(第89回)

実施日時 : 2018年12月19日(水)10:30~14:30
 参加者 : 豊田先生、金子先生、廣岡先生、三木先生 + クラブ員(17)=21名
 活動場所 : 園芸療法ガーデン、東作業室
 スケジュール : 10:30~ 各班の作業(展示ゾーンの花壇づくりなど)
 12:00~ 昼食をとりながら懇親 <以後、東作業室>
 13:00~ ミニ講座『正月準備を一緒に』

~松など正月飾りの準備と竹の花器づくりに挑戦!

持ち帰って、寄せ植えや生花などで飾り、工夫してお楽しみください。~



明石海峡大橋から見る朝の太陽が一番南に近づく頃となり、今年最後の例会日です。午後のミニ講座の正月飾りの松の採取のため、出足がいつもより早く、定刻には多くの皆さんが集まりました。
 ミーティングの後、各花壇の様子を見て回り、豊田先生から作業の留意点などの説明があり、作業開始です。
 各花壇とも花殻摘みや切戻し、雑草の引き抜きなどが主な作業で、1班は非耐寒性のコリウスなどに代わるビオラの植え付けのほか、2班はススキなど、そして3班もレモングラスの切戻しなどを行いました。また、4班はガーデンの銘板の修理について先生方を交えて検討を行い、手すきの者は班の区別なく協力し、少し余裕を持って作業を終了しました。

昼食時から東作業室に移動、Aさんの自家菜園の野菜たっぷりのさつま汁で温まり、持ち寄りのデザートを堪能しました。
 ミニ講座は、マスターコースで残った太い孟宗竹を活用させていただき、採取した松、Yさん提供のナンテンやナンキンハゼなどの材料をとりあえず、投げ入れ風で飾り、仕上げは持ち帰って各自の工夫に任せることになりました。
 来年度の例会日の予定も確定し、引き続き関係する多くの方々を支えられながら、より活発な活動が出来ればとの思いを強くしました。
 今日もお疲れさまでした。
 世話人: 植田(12/20記)岡野・三宅



毎月 第4水曜日 ただし、12/18*は第3水曜日
 (変更の場合がありますので、案内メールで確認をお願いします。)

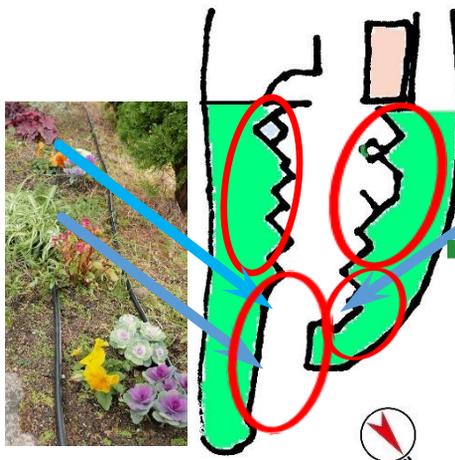
今後の
 の
 予定

2019	1/23	2/27	3/27	4/24	5/22	6/26
	7/24	8/28	9/25	10/23	11/27	12/18*
2020	1/22	2/26	3/25			

班のコーナー 今月の特集<1班>

概略図
 (対象エリア)

おすすめ!!
 触れる花壇に並んで植わっている対象的な植物の紹介です。
 もともとあった“ニューサイラン”は、着線的な楷書で太字。
 新たに加わった“ラセイ”は、曲線的で細字の草書。
 二者の特徴が一段と際立つ面白い組み合わせを楽しめます。



ヒューケラ (ユキノシタ科) 常緑性多年草

園芸療法からみた特徴

1. 感覚 (視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚など) 色の彩度が華やかで美しい。葉の裏面が赤い。葉の裏面が赤いのは葉裏のコントラストも美しい。
2. 栽培管理 (開花期 花の入れ 葉身など) ・性質 葉で葉の裏面の小さな穴を食う害虫が少なく、葉は比較的丈夫であること。冬は乾燥に強い。日当たりを好むが高温多湿に弱い。
3. 効果 葉色、形を組み合わせることで印象的に演出可能。
4. 利用法 花壇・鉢植え・プランター・バスケット。
5. エビソード (原産・花言葉・花名・名前の由来など) 花名 サボロン。



ニューサイラン (キジカクシ科) 多年草

園芸療法からみた特徴

1. 感覚 (視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚など) すらっとした長い葉を株元から根元につける葉姿が美しい。葉の裏面が赤い。葉の裏面が赤いのは葉裏のコントラストも美しい。
2. 栽培管理 (開花期 花の入れ 葉身など) ・性質 日当たりと風通しのよい場所を好む。寒さに強いとはいえず、霜に当たると葉は枯れる。枯れた葉や腐った葉は株元から切り落とす。多湿に弱い。
3. 効果 葉から葉柄を切り、動物やマット、漁網などをつくる (園芸作物)。葉を削ってすりつぶしてシップにする。
4. 利用法 葉や花をフラワーアレンジメント・寄せ植え・花壇。
5. エビソード (原産・花言葉・花名・名前の由来など) 原産地は、ニューゼaland。



オリヅラン'ボニー' (キジカクシ科) 常緑多年草

園芸療法からみた特徴

1. 感覚 (視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚など) 葉が分厚いからしめておもしろい。ランナーから伸びる葉の裏面に赤い葉が広がる。
2. 栽培管理 (開花期 花の入れ 葉身など) ・性質 葉が分厚いからしめておもしろい。葉が分厚いからしめておもしろい。葉が分厚いからしめておもしろい。
3. 効果 葉の色、形を組み合わせることで印象的に演出可能。
4. 利用法 花壇・鉢植え・プランター・バスケット。
5. エビソード (原産・花言葉・花名・名前の由来など) 英名 spider plant (連珠の植物)、Alpine plant (高山植物)。



ラセイ (イグサ科) 多年草

園芸療法からみた特徴

1. 感覚 (視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚など) イグサの葉は緑で、地下に根があり、そこから種々の葉が伸びる。葉は柔らかい。
2. 栽培管理 (開花期 花の入れ 葉身など) ・性質 水辺でよく育つ。根は花が枯れたあと、根は枯死が枯れ、根に新たな葉を根茎から伸ばし、この生育サイクルを毎年繰り返す。種分け。
3. 効果 水辺の植物で乾燥に強い。
4. 利用法 草花壇、山野草として鑑賞。
5. エビソード (原産・花言葉・花名・名前の由来など) 漢字表記すると文字通り「藪草」。

